

開館10周年記念 出光コレクション

10th Anniversary Exhibition  
**Masterpieces of Chinese Ceramics**  
from the Idemitsu Collection

出光  
IDEMITSU  
Museum of Arts  
出光美術館



# 中国陶磁 名品展

2010年 6月4日金 — 8月29日日

開館時間 — 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休館日 — 毎週月曜日(ただし7月19日は開館)  
入館料 — 一般600円/高・大生400円(団体20名以上 各100円引)  
中学生以下無料(ただし保護者の同伴が必要です)  
\* 障害者手帳をお持ちの方は100円引、その介護者1名は無料です  
講演会 — 7月26日(月)(午後2時～3時30分)  
演題「門司港から生まれた出光中国陶磁コレクション」  
講師：金沢 陽(出光美術館学芸課長代理)  
(予約：定員120名) \* 当日は予約者のみ入館可  
列品解説 — 第2、第4日曜日(午後2時～、午後3時～)  
住 所 — 〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町2-3  
JR門司港駅より徒歩8分(門司港レトロ地区内、レトロ駐車場前)  
\* 専用の駐車場がありませんので、当館前の市営駐車場をご利用ください  
主 催 — 出光美術館、出光佐三記念美術館、出光興産、読売新聞西部本社



左上：五彩牡丹文皿 明「大明万历年製」銘 景德鎮窯 右上：青白磁獅子鈕蓋水注 北宋時代 景德鎮窯  
左下：青花騎馬人物文壺 元時代 景德鎮窯 中央下：青磁浮牡丹不遶環耳瓶 南宋時代 龍泉窯  
右下：彩陶双耳壺 新石器時代(仰韶文化期)

出光美術館(門司)  
Idemitsu Museum of Arts, Moji



開館10周年記念 出光コレクション

# 中国陶磁 名品展

10th Anniversary Exhibition  
Masterpieces of Chinese  
Ceramics  
from the Idemitsu Collection

本展では、出光コレクションの中国陶磁の名品を一堂に展覧します。出光美術館初代館長出光佐三は、中国に事業が及んだ1920年ころから、宋磁を中心とする中国陶磁の蒐集を始め、出張のたびに門司の自宅に持ち帰っていました。戦後も今日に至るまでその蒐集は続き、質・量ともに世界の主要な中国陶磁コレクションの一つに数えられています。今回はその中から厳選した70点余りを出品します。



青白磁刻花牡丹唐草文吐魯瓶 一对  
北宋時代 景德鎮窯



青花龍瀟文鉢  
明「大明成化年製」 銘 景德鎮窯



青花花卉文皿 明・永楽時代 景德鎮窯



豆彩花卉鶏文花盆 清・雍正時代  
景德鎮窯



五彩龍鳳文尊式瓶  
明「大明萬曆年製」 銘 景德鎮窯

## 展覧会スケジュール〈2010.4-2011.3〉

企画展 開館10周年記念 出光コレクション  
**古唐津** 2010年4月2日(金)ー5月30日(日)

開館10周年の幕開けは、出光コレクションの古唐津の粋を一堂に展覧します。朝鮮の陶工の技術を得て、桃山時代に九州・肥前に華開いた古唐津は、土の独特の柔らかみや、庶民の器から発展した質朴な味わいをもつ陶器として、現代人の心をも癒す力をもっています。本展では、古唐津に魅せられて蒐集した出光佐三のコレクションから厳選した名品を展示するとともに、その魅力を世に出した研究者、小山富士夫・水町和三郎の業績もあわせて紹介します。

企画展 開館10周年記念 出光コレクション  
**中国陶磁名品展** 2010年6月4日(金)ー8月29日(日)

企画展 開館10周年記念 出光コレクション  
**吉祥** — 祝祭のうつわと招福の神々 — 2010年9月3日(金)ー11月7日(日)

松竹梅・蓬萊に鶴亀・波に兔。私たちの身のまわりは、吉祥の意味にあふれています。古来、中国より伝わった吉祥の意匠は、日本では婚礼や祭りなど「ハレ」の場にふさわしい意匠として独自に変容しました。中国では禅画として描かれた長寿の神様・寿老や平和の象徴・布袋も、日本では愛らしく笑いを誘う七福神の姿に変わりました。ことごとく意匠が散りばめられた日本美術の中に、日本人特有の幸せを願う祈りの気分を読みときます。

企画展 開館10周年記念 出光コレクション  
**日本陶磁名品展** 2010年11月12日(金)ー2011年1月16日(日)

華やかさと穏やかさ— その両極の美をそなえた日本陶磁の名品を、出光コレクションから厳選して展覧します。豪華な色彩が躍動する古九谷や、近代陶芸の最高峰、板谷波山の名作など、本展は出光コレクションの柱となったこれらの蒐集品を中心に、奈良時代の猿投、室町時代の古瀬戸、桃山時代の志野・織部、そして絢爛たる京焼や柿右衛門・銅島の優品までを一堂に集め、やきものの魅力を堪能し尽くします。

企画展 開館10周年記念 出光コレクション  
**一行書と茶陶** 2011年1月21日(金)ー3月27日(日)

茶の湯の席での主役は、床の間に飾られる掛物です。その中でも、一行書は江戸時代以来、第一の掛物として大事にされてきました。その内容は、わかりやすく人々を説く禅のこころ。そしてこの禅語が数少ない文字で、しかも一くだりに書かれた様子は、茶席のテーマを明解に示すものとして愛でられました。古くより人々が交流する場として営まれてきた茶の世界を、より親しく感じていただくため、一行書と茶道具の優品を特集してお楽しみいただきます。



【交通】JR門司港駅より徒歩8分  
(門司港レトロ地区内、レトロ駐車場前)  
※「やまぎんレトロライン」は  
2010年3月13日～11月28日まで  
土日祝の運行  
「出光美術館駅」より徒歩3分

## 出光美術館(門司)

〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町2-3

【TEL】093・332・0251

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日

(ただし月曜日が祝日および振替休日の場合は開館)

年末年始および展示替期間

【入館料】一般600円/高・大生400円(団体20名以上 各100円引)

中学生以下無料(ただし保護者の同伴が必要です)

\* 障害者手帳をお持ちの方は100円引、その介護者1名は無料です

【URL】<http://www.idemitsu.co.jp/museum>

## Idemitsu Museum of Arts, Moji

2-3, Higashi-minatomachi, Moji-ku, Kitakyūshū-shi,  
Fukuoka, 801-0853

【Tel】093・332・0251

【Open】10:00a.m.—5:00p.m.(Entrance Until 4:30p.m.)

【Closed】Monday

(The museum will be open when Monday is a national holiday.),  
the year-end and New Year's holidays,  
and for change of exhibits.

【Admission】

Adults ¥600/High School & University Students ¥400  
(Groups (20 or more) ¥100 Discount)

\* ¥100 Discount for Persons with Disability  
(with Presentation of the Physical Disability Certificate  
and Free Admission for 1 Caretaker).

【URL】<http://www.idemitsu.co.jp/museum>